

事後評価調書

I 事業概要						
事業名	道路事業（道路改良事業）					
地区名	一般県道境政成新田蟹江線（鍋田工区）					
事業箇所	愛知県弥富市鍋田町～境町					
事業のあらまし	<p>一般県道境政成新田蟹江線は、国道1号から伊勢湾岸自動車道に至る延長約21kmの路線であり、伊勢湾岸自動車道弥富木曾岬ICと弥富市の中心市街地を結ぶ重要な路線である。また、第一次緊急輸送道路に位置づけられ、防災上重要な路線でもある。</p> <p>現道幅員は狭隘で車のすれ違いも困難な状況であり、弥富木曾岬ICから弥富市中心市街地へのアクセス性など、物流や人の交流などの点で地域の課題となっていた。</p> <p>このため、「モノづくりを支え、国際競争力を高める広域交通基盤の整備」、「地震減災対策の推進」を主な目的として、弥富木曾岬ICと弥富市中心市街地結ぶ道路ネットワークの強化、大規模災害時等に高規格道路等へのアクセス性を向上させて円滑な救援・復旧活動を行うため、一般県道境政成新田蟹江線のバイパス整備を実施したものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1)モノづくりを支え、国際競争力を高める広域交通基盤の整備</p> <p>(2)地震減災対策の推進</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
事業費	事業費		内訳			
	10.0億円		■工事費8.1億円、■用補費1.7億円、■その他0.2億円			
事業期間	採択年度	平成13年度	着工年度	平成15年度	完成年度	平成23年度
事業内容	バイパス整備（延長：L=1.1km、車線数：暫定2車線（2/4）、幅員：W=23m）（H23供用）					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>①モノづくりを支え、国際競争力を高める広域交通基盤の整備</p> <p>本事業区間の整備により、伊勢湾岸自動車道弥富木曾岬ICから弥富市中心市街地へのアクセス時間を約6分短縮した。</p> <p>（伊勢湾岸自動車道弥富木曾岬IC～弥富市役所 整備前21分→整備後15分）</p> <p>②地域減災対策の推進</p> <p>本事業により、救命救急センターや災害拠点病院へのアクセス性が向上し、防災機能の向上が図られた。</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>本事業により、国際競争力を強化する基盤整備、地震・津波対策の推進が図られ、事業目標は十分に達成している。</p>				
	2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>—</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>—</p>				
III 対応方針						
今後の事後評価の必要性	・事業目標に対して目的を達成しており、今後の事後評価の必要性はない。					
改善措置の必要性	・事業目標に対する効果が十分に発現しており、新たな課題も見られないため、改善措置の必要性はない。					
同種事業に反映すべき事項	・標準的な事業計画、事業プロセス、工法で施工されているため、同種事業に反映すべき事項は特にない。					